

鑑賞の方にステキな景品をご用意しています！

先着：各日 25人  
場所：もりおか女性センター

## 上映スケジュール



9/30(金)

13:30～ オープニングセレモニー  
13:40～「メイド・イン・バングラデシュ」  
15:30～「マララ-教育を求めて闘う少女-」

10/1(土)

10:00～「わたしのヒーロー」  
11:00～「メイド・イン・バングラデシュ」  
14:00～「ぼくが性別『ゼロ』に戻るとき」

## 作品紹介



メイド・イン・バングラデシュ (95分)

2019年/フランス・バングラデシュ・デンマーク・ポルトガル

### 「私たちはここにいる」

23歳のシムは、首都ダッカの衣類品工場で働いている。女性たちがせわしなくミシンを踏み続ける中、工場では男性幹部が威張り散らし、泊りがけも余儀なくされるほど環境は厳しく、給料は未払いが続いていた。家では夫が働かず、シムが働いて得たお金をアテにする毎日。そんなある日、労働者権利団体のナシマ・アパに声をかけられたシムは、同僚たちを説得し、労働組合の結成を目指して立ち上がる。



わたしのヒーロー (39分)

2019年/日本

### 「松本は仕事、諦めたのか？」

都内のITコンサルに勤める松本遼(33)は現在育休中。想像以上の育児と家事に疲れ果てる毎日。けれども、本日の大変さはそこではなかった。平日昼に歩いていれば職務質問され、友人からは子育ての大変さは理解されない。それは職場復帰してから、更に重くのしかかってきて……

#### 【受賞歴】

あいち国際女性映画祭(2019)  
グランプリ・観客賞をW受賞



ぼくが性別『ゼロ』に戻るとき (84分)

2019年/日本

### 《女》から《男》へ、そしてその先にあるものとは—？ 性別を超えた、あるがままの「わたし」と出会うまで

女性として生まれたが、自分の性に違和感を持ち続けていた小林空雅さん。13歳のとき、心は男性/生物学的には女性である「性同一性障害」と診断される。

20歳で性別適合手術を受け、戸籍も男性に変えた。本作はそんな1人の若者の9年間の変化と成長を描いた《このころの居場所》についてのドキュメンタリー。



マララ -教育を求めて闘う少女- (30分)

2014年/イギリス

### 一人の少女の言葉が、行動が、世界を変える

2012年10月、パキスタンの少女マララはタリバンに銃撃された。イスラム社会における女子教育の必要性を訴えて活動していた彼女は、タリバンの標的となっていたのだ。マララは危険な目に遭いながらもなぜ世界に訴え続けるのだろうか？教育を受ける権利とは？彼女の信念と素顔を見る。



利用団体  
活動紹介展示

日頃、もりおか女性センターで活動している団体の紹介を展示いたします。

■展示場所：もりおか女性センター

## 【お問い合わせ先】もりおか女性センター

〒020-0871  
盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって 5F  
TEL:019-604-3303 Email:[mjc@sankaku-npo.jp](mailto:mjc@sankaku-npo.jp)

